

指導と評価の一体化を明確にした授業づくり

種目番号	⑥2	記入者氏名	
		校種・領域	高校・球技 (バスケットボール)

1. 指導と評価の計画 高等学校 第2学年 15時間 領域 球技 単元 (種目) バスケットボール

時間	ねらい・学習活動	学習活動における具体的評価規準			
		関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習 I 1時間	○オリエンテーション ・学習の目標を知る。 ・単元の目標に必要なバスケットボールの特性を知る。 ・チーム分けとチーム名の作成をする。 毎時の学習ノートの記入の仕方を知る。	①バスケットボールの特性について関心を持ち、楽しさや喜びを味わおうとする。 ○バスケットボールの特性について関心を持ち、積極的に楽しさや喜びを味わおうとする。			①バスケットボールは双方入り交じってゴールを攻める特性があることについて、言ったり、書き出したりしている。 ○バスケットボールは双方入り交じってゴールを攻める特性があることについて、具体例を挙げて言ったり、書き出したりしている。
ねらい1 学習 II 2時間	チームや自分の課題を見つけながらゲームをしよう ○課題発見ゲーム ・チームや自分の課題を発見し目標の設定をする。	②練習やゲームの場所の安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に注意しようとする。 ○練習やゲームの場所の安全を確かめ、仲間の安全に気を配るなど、健康・安全に注意しようとする。	①練習やゲームから、チームや自分の能力に応じた課題を見つけている。 ○練習やゲームから、チームや自分に適切で具体的な課題を見つけている。	①ドリブルやパスでボールをコントロールすることができる。 ○ドリブルやパスでボールをコントロールし、シュートにまでつなげることができる。	
ねらい2 学習 II 6時間	個人的技能を生かしながら、集団的スキルへ結びつけていくゲームをしよう ○ボールレシーブ ○コンビネーションプレー ・カッティング ・ドライブイン ○速攻 ・リバウンドから ・パスカットから	③練習やゲームで、自分の役割を果たし協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。 ○練習やゲームで、お互いのよいところを認め合い、仲間に働きかけるなどして積極的に協力しようとする。 ④バスケットボールの集団的スキルに着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを味わおうとする。 ○バスケットボールの集団的スキルに着目して、作戦を立てて勝敗を競い合う楽しさを自ら進んで味わおうとする。	②練習やゲームから、課題を解決するための方法を選んでいく。 ○練習やゲームから、課題を解決するための具体的な方法を見つけていく。 ③チームや自分の課題をとらえ、練習の見直しやゲームで新たな作戦を見つけていく。 ○発見した課題に合わせ、技術構造に基づいた練習内容の見直しや合理的な戦術を選んでいく。	②ディフェンスを振り切り、ボールをレシーブすることができる。 ○ディフェンスを振り切り、次の攻撃につながるボールレシーブをすることができる。 ③チームで協力して、ボールをつなぎ、シュートすることができる。 ○チームで協力して、ボールをスムーズにつなぎ、シュートすることができる。	②バスケットボールのスキルを高める効果的な練習法について、具体例を挙げていく。 ○バスケットボールのスキルを高める効果的な練習法について、具体例を挙げて説明していく。 ③バスケットボールに必要な集団的スキルについて、言ったり、書き出したりしている。 ○バスケットボールに必要な集団的スキルについて、具体例を挙げて言ったり、書き出したりしている。
ねらい3 学習 II 3時間	相手に応じた集団的スキルを生かしたゲームをしよう ○オフェンス ・速攻、コンビネーションプレー ○ディフェンス ・マンツーマン、ゾーン		④技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ○技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法を見つれたり、作戦を立てたりしている。 ⑤チームや自分の課題の達成状況をとらえ、練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を選んだり、見つけたしたりしている。 ○課題の達成状況に応じて、練習やゲームの仕方を見直したり、適切な課題を選んだり、見つけたしたりしている。	④チームのオフェンスやディフェンスの方法に応じて、自己の役割を果たし、協力してプレーすることができる。 ○チームのオフェンスやディフェンスの方法に応じて、自己の役割を見つけ、積極的に協力してプレーすることができる。	
まとめ 3時間	○まとめのゲーム ・相互に審判を行い、リーグ戦を実施する。 ○学習のまとめ ・練習やゲームの振り返りを行う。 ・仲間のよかった点などを挙げる。	⑤審判の判定や指示に従い、勝敗や結果を受け入れようとする。 ○審判の判定や指示を受け入れ、冷静に対処しようとする。			④ファールやバイオレーションなどの基本的なルールについて、言ったり、書き出したりしている。 ○ファールやバイオレーションなどの基本的なルールについて、具体例を挙げて言ったり、書き出したりしている。 ⑤リーグ戦の企画や運営の仕方、審判法について、言ったり、書き出したりしている。 ○リーグ戦の企画や運営の仕方、審判法について、具体例を挙げて言ったり、書き出したりしている。
	評価方法等  ( ) 内の方法を手がかりに、例えば次のような観察の様子や記述の内容から「おおむね満足できると判断される」状況かどうかを評価する。	行動観察 (準備、後片づけ、練習、チーム内反省) チーム学習ノート チーム学習ノート	行動観察 (練習、ゲーム、チーム内反省) チーム学習ノート 自己評価表	行動観察 (練習、ゲーム、チーム内反省)	行動観察 (練習、ゲーム、チーム内反省) チーム学習ノート 自己評価表

## 2. 評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
内容のまとめり ごとの評価規準	球技の特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるようチームにおける自分の役割を自覚して、その責任を果たし、互いに協力して進んで練習やゲームに取り組もうとするとともに、勝敗に対し公正な態度をとろうとする。また、練習場などの安全を確かめ、健康・安全に留意して練習やゲームをしようとする。	チームや自分の能力に応じた課題を設定し、その解決を目指して、練習の仕方やゲームの仕方を工夫している。	チームの課題や自分の能力に応じて、選択した球技種目の特性に応じた技能を身に付け、作戦を生かした攻防を展開してゲームができる。	選択した球技種目の特性に応じた技術の構造や技能を高めるための効果的な練習の仕方、ルール、審判法及び競技会の企画や運営の仕方を理解し、知識を身に付けている。
単元の評価規準	バスケットボールの集団的技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うバスケットボールの楽しさや喜びを味わえるようチームにおける役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとするとともに、審判の判定や指示に従い、勝敗や結果を受け入れようとする。また、練習やゲームの場所の安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しようとする。	チームや自分の能力に応じた課題を設定し、その課題を解決するための適切な練習の方法を選んだり、見付けたりとともに、集団的技能について、相手との攻防に合った作戦を立てたり、練習やゲームの方法や新しい課題を見付けたりする。	チームや自分の能力に応じて、バスケットボールの特性に応じた技能を身に付け、ゲームをすることができる。また、速攻やディフェンスのフォーメーションなどの集団的技能を高め、新たに身に付けた技能で攻防を展開することができる。	バスケットボールの特性に応じた集団的技能の構造、技能を高めるための合理的な練習の仕方、バスケットボールに必要なルール及び競技会の企画や運営の仕方について、書き出したり、具体例を挙げたりしている。
学習活動における 具体的評価規準	①バスケットボールの特性について関心を持ち、楽しさや喜びを味わおうとする。 ②練習やゲームの場所の安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に注意しようとする。 ③練習やゲームで、自分の役割を果たし協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。 ④バスケットボールの集団的技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うバスケットボールの楽しさを味わおうとする。 ⑤審判の判定や指示に従い、勝敗や結果を受け入れようとしている。	①練習やゲームから、チームや自分の課題を見つけている。 ②練習やゲームから、課題を解決するための方法を選んでいる。 ③チームや自分の課題をとらえ、練習の見直しやゲームで新たな作戦を見つけている。 ④技能の段階に応じて、組織的な攻守に必要な練習法や作戦を提示されたものの中から選んでいる。 ⑤チームや自分の課題の達成状況をとらえ、練習やゲームの仕方を見直したり、新しい課題を選んだり、見つけだしたりしている。	①ドリブルやパスでボールをコントロールすることができる。 ②ディフェンスを振り切り、ボールをレシーブすることができる。 ③チームで協力して、ボールをつなぎ、シュートすることができる。 ④チームのオフenseやディフェンスの方法に応じて、自己の役割を果たし、協力してプレーすることができる。	①バスケットボールは双方入り交じってゴールを攻める特性があることについて、言ったり、書き出したりしている。 ②バスケットボールの技能を高めるための効果的な練習法について、具体例を挙げている。 ③バスケットボールに必要な集団的技能について、言ったり、書き出したりしている。 ④ファールやバイオレーションなどの基本的なルールについて、言ったり、書き出したりしている。 ⑤ゲームの運営について、自分の役割を果たしている。

1 単元名 球技 (バスケットボール)

2 単元の目標

- (1) バスケットボールの集団的技能に着目して、作戦を立てて勝敗を競い合うバスケットボールの楽しさや喜びを味わえるようチームにおける役割を果たし、協力して教え合ったり励まし合ったりしようとするとともに、審判の判定や指示に従い、勝敗や結果を受け入れようとする。また、練習やゲームの場所の安全を確かめ、危険なプレーをしないなど、健康・安全に留意しようとする。
- (2) チームや自分の能力に応じた課題を設定し、その課題を解決するための適切な練習の方法を選んだり、見付けたりするとともに、集団的技能について、相手との攻防に合った作戦を立てたり、練習やゲームの方法や新しい課題を見付けたりする。
- (3) チームや自分の能力に応じて、バスケットボールの特性に応じた技能を身に付け、ゲームをすることができる。また、速攻やディフェンスのフォーメーションなどの集団的技能を高め、新たに身に付けた技能で攻防を展開することができる。
- (4) バスケットボールの特性に応じた集団的技術の構造、技能を高めるための合理的な練習の仕方、バスケットボールに必要なルール及び競技会の企画や運営の仕方について、書き出したり、具体例を挙げたりしている。

3 評価規準 (別紙様式 2 - 2)

4 指導と評価の計画 (別紙様式 2 - 1)

5 本時の実際

(1) 本時の目標

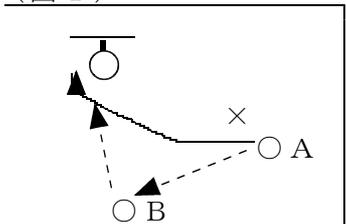
ア 練習やゲームで、自分の役割を果たし協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとする。

イ 練習やゲームから、課題を解決するための方法を選んでいる。

**ウ コンビネーションプレーを使って、シュートすることができる。**

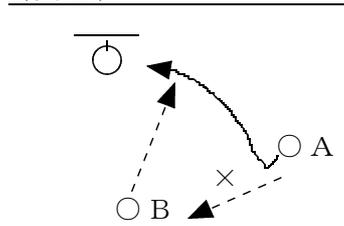
エ バスケットボールに必要な集団的技能について、言ったり、書き出したりしている。

(2) 展開 (6 / 15 時間)

段階	学習内容 (ねらい) 及び学習活動	教師の支援 (指導) 及び評価規準, 評価方法
導入 12分	<ul style="list-style-type: none"> <li>○集合・挨拶                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・チームごとに整列する。</li> </ul> </li> <li>○体づくり運動                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・ボールを使ったペアストレッチ</li> <li>・通り抜け鬼ごっこ</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・欠席者, 見学者を把握し, 健康状態を観察する。</li> <li>・自分の体調に気付き, チームの仲間と交流しながら十分に体を動かすように指導する。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>○本時の内容確認</li> <li><b>コンビネーションプレーを使ったゲームをしよう</b></li> <li>Q. ゴール下でのノーマークシュートを打つためにはどうしますか。</li> <li>○コンビネーションプレー                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・カッティングを使ったコンビネーションプレーを練習する。</li> <li>ボールサイドカット (図 1)</li> <li>ブラインドサイドカット (図 2)</li> <li>(図 1)</li> </ul> </li> </ul> <div style="display: flex; align-items: center;">  <div style="margin-left: 10px;"> <p>・ボールサイドに走り込み, パスを受ける。</p> </div> </div> <p>— 人の動き      - - - - ボールの動き</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の学習のねらいや流れを理解させ, 見通しを持たせる。</li> <li>・図解と生徒による師範を行い, プレーのイメージを作らせる。</li> <li>・動きをイメージできない生徒には, ディフェンスをつけて説明する。</li> <li>・コンビネーションプレーでもパス, キャッチ, フットワークなどの個人技能が大切であることを強調する。</li> <li>【関心・意欲・態度の評価】</li> <li>◇お互いに声を出してコミュニケーションを図りながら, 練習に取り組んでいるか。 (行動観察)</li> </ul>

30  
分

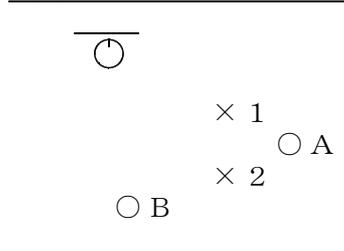
(図 2)



・ディフェンスの後ろ側を走り込んでパスを受ける。

○ディフェンスの位置をみて瞬時に動きを選択する。

(図 3)



・ディフェンス 1 の場合ボールサイドカット  
・ディフェンス 2 の場合ブラインドサイドカット

○ゲーム

・コンビネーションプレーを使ったゲームを行う。

- ・チーム内でコンビネーションプレーを成功させるために声を掛け合っているか確認し、できないところには具体的な方法を指導する。
- ・ボールがゴール下周辺に転がっていないか確認させる。
- ・上手く攻撃できないチームには動きのタイミングやパスの方法などを具体的に説明し、流れを掴ませる。

- ・ゲームに出場しないものは、審判、得点係、応援などを積極的に行うよう助言する。
- ・ルールについて、ゲーム中のプレーを例に解説する。

【関心・意欲・態度の評価】

◇練習やゲームで、自分の役割を果たし協力して 教え合ったり、励まし合ったりしようとする。〈行動観察，チーム学習ノート〉

【運動技能の評価】

◇チームで協力して、ボールをつなぎ、シュートすることができる。〈行動観察〉

整  
理  
8  
分

○整理運動

・チームごとに整理運動する。

○反省

・チームごとに本時の反省を行い、課題を確認する。

○本時のまとめ

・本時の目標が達成できたか確認する。

○挨拶・後片づけ

・自分の役割を果たして速やかに行う。

- ・健康状態と十分に体をほぐしているかを確認する。
- ・全員が参加するよう促し、課題が把握できているか確認する。
- ・達成度を確認し、具体的な助言をする。
- ・円滑に後片づけができるように指示する。